平成24年３月期　決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年５月11日

上 場 会 社 名　　株式会社システムリサーチ　　上場取引所　大
コ ー ド 番 号　　3771　　URL　http://www.sr-net.co.jp
代　　表　　者　(役職名)代表取締役社長　　(氏名)山田 敏行
問合せ先責任者　(役職名)執行役員企画広報室　(氏名)小池 貴司　　(TEL)　(052)-413-6820
ゼネラルマネージャー

定時株主総会開催予定日　　平成24年６月26日　　配当支払開始予定日　　平成24年６月27日
有価証券報告書提出予定日　平成24年６月26日

決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　　：　有（投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成24年３月期の連結業績（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

（１）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期	7,192	12.1	310	132.0	322	63.5	170	62.9
23年３月期	6,415	△4.9	133	△46.2	197	△41.1	104	△44.3

（注）　包括利益　　24年３月期　　170百万円(67.8%)　　23年３月期　　101百万円(△45.7%)

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
24年３月期	81 43	―	7.5	6.0	4.3
23年３月期	49 98	―	4.7	3.9	2.0

（参考）　持分法投資損益　　24年３月期　　－百万円　　23年３月期　　－百万円

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年３月期	5,509	2,284	41.4	1,093 07
23年３月期	5,102	2,218	43.4	1,061 33

（参考）　自己資本　　24年３月期　　2,284百万円　　23年３月期　　2,218百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年３月期	529	△409	△12	1,673
23年３月期	318	△282	62	1,566

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
23年３月期	―	0 00	―	50 00	50 00	104	100.0	4.7
24年３月期	―	0 00	―	50 00	50 00	104	61.4	4.6
25年３月期(予想)	―	0 00	―	50 00	50 00		40.7	

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、第２四半期(累計)は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	3,661	8.1	66	0.4	55	△15.0	33	△2.2	15 79
通　期	7,950	10.5	453	46.0	432	34.2	256	50.7	122 77

※　注記事項

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　　：　無
　　新規　－社（　　）、除外　　－社（　　）

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無
②　①以外の会計方針の変更　　：　無
③　会計上の見積りの変更　　：　無
④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期	2,090,000株	23年3月期	2,090,000株
②　期末自己株式数	24年3月期	209株	23年3月期	157株
③　期中平均株式数	24年3月期	2,089,795株	23年3月期	2,089,888株

（参考）　個別業績の概要

１．平成24年３月期の個別業績（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

（１）個別経営成績　　（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期	6,499	13.7	280	116.6	290	50.5	140	36.2
23年３月期	5,712	△5.5	129	△46.3	192	△40.9	103	△43.4

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後 １株当たり当期純利益
	円　銭	円　銭
24年３月期	67　19	―
23年３月期	49　32	―

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
24年３月期	5,309	2,343	44.1	1,121　47
23年３月期	4,896	2,307	47.1	1,103　98

（参考）　自己資本　　24年３月期　2,343百万円　　23年３月期　2,307百万円

２．平成25年３月期の個別業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、第２四半期(累計)は対前年同四半期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
第２四半期(累計)	3,299	7.7	53	△28.0	30	△29.1	14　64
通　期	7,200	10.7	410	41.4	236	68.4	113　20

※　監査手続の実施状況に関する表示

・この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表および財務諸表の監査手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。
・当社は、平成24年５月18日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績 …… 2
（１）経営成績に関する分析 …… 2
（２）財政状態に関する分析 …… 4
（３）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 …… 5
２．企業集団の状況 …… 6
３．経営方針 …… 7
（１）会社の経営の基本方針 …… 7
（２）目標とする経営指標 …… 7
（３）中長期的な会社の経営戦略 …… 7
（４）会社の対処すべき課題 …… 8
４．連結財務諸表 …… 9
（１）連結貸借対照表 …… 9
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 ……11
連結損益計算書 ……11
連結包括利益計算書 ……12
（３）連結株主資本等変動計算書 ……13
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 ……15
（５）継続企業の前提に関する注記 ……16
（６）連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 ……16
（７）連結財務諸表に関する注記事項 ……19
（連結損益計算書関係） ……19
（連結包括利益計算書関係） ……19
（連結株主資本等変動計算書関係） ……20
（連結キャッシュ・フロー計算書関係） ……22
（セグメント情報） ……22
（１株当たり情報） ……22
（重要な後発事象） ……23
５．個別財務諸表 ……24
（１）貸借対照表 ……24
（２）損益計算書 ……26
（３）株主資本等変動計算書 ……27
６．その他 ……29
（１）生産、受注及び販売の状況 ……29
（２）役員の異動 ……30

１．経営成績

（１）経営成績に関する分析

① 経営成績に関する分析

当連結会計年度のわが国経済の前半は、東日本大震災による供給網（サプライチェーン）の寸断や原発事故による電力不足等で企業の生産活動の縮小が続きました。夏以降は、欧州経済の信用不安を背景に世界経済の減速、円高の長期化が日本の輸出企業に大打撃を与えました。後半に入り、行き過ぎた円高の修正に伴う輸出採算の好転やタイ洪水による生産停止が解消したことなどから自動車、電気機械など加工業種で企業マインドが改善しました。

一方、情報サービス産業におきましては、経済産業省の「特定サービス産業動態統計」によると、平成24年２月の情報サービス業の売上高は前年同月比1.6％増と２か月ぶりの増加となりました。業務種類別では、「ソフトウェアプロダクト」は同10.2％の減少、主力の「受注ソフトウェア」は同4.9％の増加、「システム等管理運営受託」は同4.1％の増加であります。

このような状況下、当社グループの主要取引先である自動車関連製造業、工作機械メーカーなどのＩＴ投資が徐々に回復し始め、前期に引き続き、既存顧客の深耕や新規顧客の開拓など受注獲得に向けた営業活動を展開してまいりました。利益面では、不要不急の経費を抑えるなどコスト削減策の継続とともに、内製化政策の推進、ＰＲＭ（Project Risk Management）活動の強化によるプロジェクト原価管理の徹底などに取り組んでまいりました。

このような取り組みの結果、業務区分別の売上高につきましては、ＳＩサービス業務は、タイ洪水の影響が薄れ生産が本格化した自動車関連製造業などからの受注が増加傾向に転じ、売上高は、3,893,622千円（前年同期比12.9％増）となりました。また、ソフトウエア開発業務では、既存顧客からソフトウエアの保守メンテナンス業務やアウトソーシング業務などストックビジネスの拡大に努め、この業務での売上高は、2,627,821千円（前年同期比17.6％増）となりました。ソフトウエアプロダクト業務におきましては、コールセンター向けの新商品や次世代通販業向けのパッケージ商品などの販売活動を展開してまいりました。この結果、売上高は535,170千円（前年同期比2.7％減）となりました。商品販売におきましては、情報機器、ネットワーク機器等の販売により、売上高は131,358千円（前年同期比27.4％減）、その他ＷＥＢサイトの運営等での売上高は、インターネット関連の「ネットでショップもうかルンバ」などで4,080千円（前年同期比1.2％増）となりました。

以上の結果、売上高7,192,053千円（前年同期比12.1％増）、営業利益310,461千円（前年同期比132.0％増）、経常利益322,450千円（前年同期比63.5％増）、当期純利益170,191千円（前年同期比62.9％増）となりました。

② 次期の見通し

わが国の経済は、震災復興やタイ洪水被害からの回復により、自動車、電気機械などで改善の兆しが見られ始めております。また、「エコカー補助金」制度の復活が決まったことが追い風となり、今後、当社グループの主要顧客である自動車関連製造業等からの受注増が見込まれております。

こうしたなか、(1)ソリューションビジネス・ストックビジネスの拡大を目指す。(2)新しいウェブ関連ビジネス、コンテンツビジネスの事業化を目指す。(3)携帯電話やカーナビなどの組み込み系分野の拡大を図るなどに取り組んでまいります。

この結果、連結業績見通しにつきましては、連結売上高7,950,000千円（前年同期比10.5％増）、連結営業利益453,400千円（前年同期比46.0％増）、連結経常利益432,917千円（前年同期比34.2％

増）、連結当期純利益256,570千円（前年同期比50.7％増）となる見込みであります。

また、通期の単独業績見通しにつきましては、売上高7,200,000千円（前年同期比10.7％増）、営業利益432,000千円（前年同期比54.0％増）、経常利益410,917千円（前年同期比41.4％増）、当期純利益236,570千円（前年同期比68.4％増）となる見込みであります。

（２）財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当連結会計年度末の総資産は、仕掛品が減少する一方、本社ビルの建設や現金及び預金の増加により、5,509,906千円（前年同期比406,959千円増）となりました。

当連結会計年度末の負債は、支払手形及び買掛金の減少などがあったものの、長期借入金や賞与引当金の増加により3,225,614千円（前年同期比340,683千円増）となりました。

また、当連結会計年度末の純資産は、当期純利益が計上され、利益剰余金が増加したことにより2,284,291千円（前年同期比66,275千円増）となりました。

② キャッシュ・フローの状況に関する分析

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動により529,645千円増加し、投資活動により409,480千円減少、財務活動により12,489千円減少した結果、期末残高は1,673,887千円となりました。

また、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において営業活動による資金につきましては、税金等調整前当期純利益319,432千円（前年同期比127,397千円増）や減価償却費92,389千円（前年同期比3,280千円増）が、仕入債務の減少額22,058千円（前年同期は39,404千円の増加）や、法人税等の支払額17,734千円（前年同期比112,375千円増）などを上回ったことにより、529,645千円の増加（前年同期比211,240千円増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において投資活動による資金につきましては、有形固定資産の取得による支出351,304千円（前年同期比174,250千円減）や無形固定資産の取得による支出58,070千円（前年同期比47,363千円増）などにより、409,480千円の減少（前年同期比126,979千円減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において財務活動による資金につきましては、長・短期借入金の返済による支出1,848,948千円（前年同期比121,557千円減）や配当金の支払額104,492千円（前年同期比４千円増）が、長・短期借入れによる収入1,950,000千円（前年同期比40,000千円増）を上回ったことにより、12,489千円の減少（前年同期は62,693千円の増加）となりました。

（参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成20年３月期	平成21年３月期	平成22年３月期	平成23年３月期	平成24年３月期
自己資本比率(%)	43.4	43.2	45.0	43.4	41.4
時価ベースの自己資本比率(%)	47.3	28.7	33.6	34.8	39.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	4.6	4.6	3.0	4.8	3.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	9.5	15.1	22.1	15.4	27.1

自己資本比率：自己資本／総資産
時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※　連結ベースの財務数値により計算しております。

※　株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。

※　キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。また利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（３）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

株主への配当につきましては、当社の株式を長期的かつ安定的に保有していただくため、安定配当を維持していくことを念頭におき、当事業年度の収益状況や今後の見通し、配当性向などを総合的に勘案して決定すべきものと考えております。

なお、当事業年度の配当金につきましては、株主の皆様のご支援・ご期待にお応えするため、年間１株当たり50円とする予定です。また、次期につきましても、年間１株当たり配当金は50円とする予定でございます。

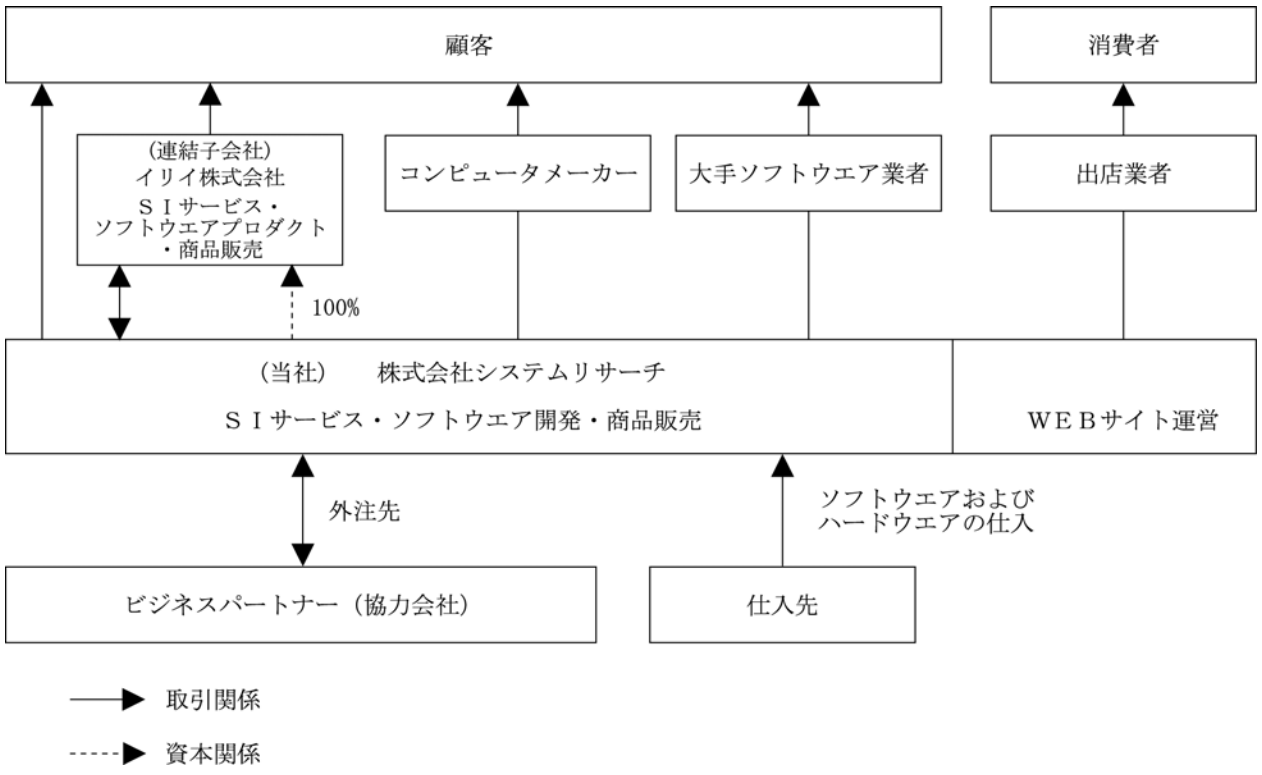
２．企業集団の状況

当社グループは、当社および子会社１社で構成され、ＳＩサービスおよびソフトウエア開発を主たる業務としております。更にコンピュータ機器等の商品販売、ＷＥＢサイトの運営、ソフトウエアプロダクト開発販売等も行う総合情報サービス業であります。

当社グループの種類別事業内容および当社と子会社の当該事業に係わる位置付けは次のとおりであります。

業務区分	業務区分別事業内容	主な会社
ＳＩサービス業務	システム構築を一括して提供するサービス。システム構築用ハードウエア等を含む。	当社 イリイ株式会社
ソフトウエア開発業務	特定ユーザー向けの「オーダーメイド型」のプログラム作成やソフトウエア保守等。	当社
ソフトウエアプロダクト業務	不特定ユーザー向けのプログラム作成、販売および保守等。	イリイ株式会社
商品販売	情報機器、ソフトウエア等の商品仕入れ販売。	当社 イリイ株式会社
その他	ＷＥＢサイトの運営等。	当社 イリイ株式会社

事業の系統図は、次のとおりであります。



３．経営方針

（１）会社の経営の基本方針

当社グループは、独立系企業として顧客の企業系列や使用しているハードウエアの制約を受けることなく様々な業種・業態のシステム構築に携わり確かな技術力とノウハウを蓄積しております。

これらの技術を基に常に顧客の抱える問題に最適なソリューションを提供し続けることを企業の使命とし、収益基盤の拡大と企業の発展・継続を実現するため、①時流に乗る経営、②衆知を集める経営、③運命共同体の経営、④高能率・高配分の経営、⑤顧客志向の経営を経営理念としております。

今後、ネットワーク技術や情報処理技術が急進展するなかで、ＩＴ（情報技術）ニーズの高度化・多様化に応えるため、①システムインテグレーション技術の向上を目指し最先端技術力の習得に努める、②ＩＳＯ９００１認証取得のノウハウに基づき品質管理の強化を図る、③ＩＳＯ２７００１（情報セキュリティマネジメントシステム）コンセプトに基づいた実施・運用により情報セキュリティレベルの向上を図る、④ＩＴＳＳ（ＩＴスキル・スタンダード）をベースにキャリアパスを明確にし、技術力の向上を目指すなどにより、お客様、株主、投資家の皆様の信頼に応え、高成長、高収益の会社創りを目指すことを経営の基本方針としております。

（２）目標とする経営指標

株主重視の姿勢を明らかにするため株主資本純利益率（ＲＯＥ）を最重要の経営指標として重視しております。株主から預かった資本を元手にどれだけの利益を確保できたか、その上昇度を経営目標として取り組んでおります。具体的には、子会社との密接な連携により、シナジーを最大限に発揮することでグループ経営の推進を図り、収益力をアップして株主の利益を優先する経営を目指しております。

なお、当連結会計年度における株主資本純利益率（ＲＯＥ）は7.5％（前年度4.7％）であります。

（３）中長期的な会社の経営戦略

情報システムは、今や経済・社会活動を支える必要不可欠である重要なインフラとして機能しております。機能停止等のトラブルが発生した場合は、経済・社会活動に多大な影響を及ぼすことから、信頼性の高い情報システムの提供がますます重要となっております。

また、個人情報の流出などによるトラブルが及ぼす社会的影響も極めて大きくなっております。ネットワークによる情報流通が進展した今日では、ＩＴ化による利便性の増大とともに、新種ウイルスや不正アクセスなどＩＴに対する脅威も増加しており、その姿も多様化しております。情報サービス業を営む当社グループといたしましては、このような状況を踏まえ、経済・社会における情報インフラや企業の基幹業務システムの構築を担う専門家集団として情報社会の安全性と信頼性の確保を目指し事業活動を展開してまいる所存であります。このような事業環境のなかで、当社グループの経営戦略は、①ストックビジネスを拡大して、経営基盤の安定化を図る。②ソリューションビジネスの拡大を図る。③東京地区、大阪地区での事業規模の拡大を図る。④新しいＷＥＢ関連ビジネスの展開を図る。⑤生産性の向上と、ＰＲＭ（Project Risk Management）活動の徹底を図る等であります。

当社グループは、情報サービス事業者として常に自己革新を怠らず、技術力、マーケティング力の強化、専門性の向上などに取り組み、お客様の経営課題に的確に対応する高品質のソリューション・サービスの提供に努めてまいります。

（４）会社の対処すべき課題

わが国の情報サービス産業は、円高・デフレなどに加えて加速化する経済のグローバル化、情報システムの利活用における「所有から利用へ」の流れの顕在化など、かつて経験したことのない大きな構造的環境変化に直面しています。

こうしたなか、情報システムの進展は目覚ましく多くの産業と密接に関連するようになり、さまざまな顧客情報や機密情報がシステム上で活用されております。一方で、不正アクセスもしくは内部犯行などによって、これらの情報の漏えいを引き起こした場合、対応を誤れば企業や組織の存続が損なわれる恐れがあります。こうした状況から当社グループは、顧客の抱える経営課題に最適なソリューションを提供し顧客からの信頼感を得るため、①優秀な人材の確保と実践型人材の養成。②情報セキュリティガバナンスの確立。③個人情報保護法、労働者派遣法、下請代金支払遅延防止法等の法令遵守。④インサイダー取引規制の啓蒙活動。⑤事業継続（ＢＣＭ：Business Continuity Management）体制の確立等に取り組み、経営基盤の安定化と事業拡大に向けて邁進してまいります。

４．連結財務諸表
（１）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当連結会計年度 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,601,394	1,709,075
受取手形及び売掛金	1,719,198	1,727,720
商品及び製品	2,601	3,486
仕掛品	74,783	43,970
原材料及び貯蔵品	4,300	4,659
繰延税金資産	133,074	158,935
その他	54,023	47,615
貸倒引当金	△171	△169
流動資産合計	3,589,206	3,695,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	397,928	904,722
減価償却累計額	△238,314	△264,450
建物及び構築物（純額）	159,614	640,271
土地	604,806	604,806
リース資産	46,520	30,401
減価償却累計額	△37,116	△27,996
リース資産（純額）	9,403	2,404
建設仮勘定	175,000	－
その他	84,607	92,329
減価償却累計額	△74,883	△70,031
その他（純額）	9,723	22,297
有形固定資産合計	958,548	1,269,780
無形固定資産		
のれん	9,394	－
ソフトウエア	290,824	296,933
リース資産	3,515	1,506
その他	6,568	8,997
無形固定資産合計	310,302	307,437
投資その他の資産		
投資有価証券	19,933	18,068
繰延税金資産	65,277	61,732
その他	159,678	157,592
投資その他の資産合計	244,889	237,393
固定資産合計	1,513,740	1,814,611
資産合計	5,102,947	5,509,906

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当連結会計年度 （平成24年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	389,073	367,269
1年内返済予定の長期借入金	728,775	807,566
リース債務	9,007	3,911
未払法人税等	14,348	147,164
賞与引当金	313,558	350,688
その他	426,316	518,337
流動負債合計	1,881,079	2,194,937
固定負債		
長期借入金	796,508	818,769
リース債務	3,911	－
退職給付引当金	184,505	192,981
長期未払金	18,926	18,926
固定負債合計	1,003,852	1,030,677
負債合計	2,884,931	3,225,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,150	550,150
資本剰余金	517,550	517,550
利益剰余金	1,148,696	1,214,396
自己株式	△139	△180
株主資本合計	2,216,257	2,281,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,758	2,375
その他の包括利益累計額合計	1,758	2,375
純資産合計	2,218,015	2,284,291
負債純資産合計	5,102,947	5,509,906

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
売上高	6,415,676	7,192,053
売上原価	5,127,569	5,702,594
売上総利益	1,288,107	1,489,459
販売費及び一般管理費	※1, ※2 1,154,342	※1, ※2 1,178,997
営業利益	133,765	310,461
営業外収益		
受取利息	64	38
受取配当金	210	226
助成金収入	79,405	23,680
その他	4,583	8,019
営業外収益合計	84,264	31,964
営業外費用		
支払利息	20,620	19,589
その他	281	384
営業外費用合計	20,901	19,974
経常利益	197,127	322,450
特別利益		
貸倒引当金戻入額	10	－
特別利益合計	10	－
特別損失		
固定資産除却損	※3 48	※3 560
投資有価証券評価損	3,230	2,457
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,822	－
特別損失合計	5,102	3,017
税金等調整前当期純利益	192,035	319,432
法人税、住民税及び事業税	70,902	171,651
法人税等調整額	16,661	△22,410
法人税等合計	87,563	149,240
少数株主損益調整前当期純利益	104,471	170,191
当期純利益	104,471	170,191

連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
少数株主損益調整前当期純利益	104,471	170,191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,692	617
その他の包括利益合計	△2,692	※1 617
包括利益	101,778	170,809
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	101,778	170,809

（３）連結株主資本等変動計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
株主資本		
資本金		
当期首残高	550,150	550,150
当期変動額		
当期変動額合計	－	－
当期末残高	550,150	550,150
資本剰余金		
当期首残高	517,550	517,550
当期変動額		
当期変動額合計	－	－
当期末残高	517,550	517,550
利益剰余金		
当期首残高	1,148,721	1,148,696
当期変動額		
剰余金の配当	△104,496	△104,492
当期純利益	104,471	170,191
当期変動額合計	△25	65,699
当期末残高	1,148,696	1,214,396
自己株式		
当期首残高	△66	△139
当期変動額		
自己株式の取得	△72	△41
当期変動額合計	△72	△41
当期末残高	△139	△180
株主資本合計		
当期首残高	2,216,355	2,216,257
当期変動額		
剰余金の配当	△104,496	△104,492
当期純利益	104,471	170,191
自己株式の取得	△72	△41
当期変動額合計	△97	65,658
当期末残高	2,216,257	2,281,915

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	4,450	1,758
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△2,692	617
当期変動額合計	△2,692	617
当期末残高	1,758	2,375
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,450	1,758
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△2,692	617
当期変動額合計	△2,692	617
当期末残高	1,758	2,375
純資産合計		
当期首残高	2,220,806	2,218,015
当期変動額		
剰余金の配当	△104,496	△104,492
当期純利益	104,471	170,191
自己株式の取得	△72	△41
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△2,692	617
当期変動額合計	△2,790	66,275
当期末残高	2,218,015	2,284,291

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	192,035	319,432
減価償却費	89,109	92,389
のれん償却額	18,678	9,394
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△937	△2
賞与引当金の増減額（△は減少）	△42,741	37,129
受注損失引当金の増減額（△は減少）	△6,533	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	9,131	8,475
受取利息及び受取配当金	△250	△264
支払利息	20,620	19,589
固定資産除却損	48	560
投資有価証券評価損益（△は益）	3,230	2,457
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,822	－
売上債権の増減額（△は増加）	120,059	△5,149
たな卸資産の増減額（△は増加）	△8,996	29,568
仕入債務の増減額（△は減少）	39,404	△22,058
その他の資産の増減額（△は増加）	4,458	△10,559
その他の負債の増減額（△は減少）	29,682	85,637
小計	468,823	566,602
利息及び配当金の受取額	253	265
利息の支払額	△20,561	△19,487
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△130,110	△17,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	318,404	529,645
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△14	△5
有形固定資産の取得による支出	△177,053	△351,304
無形固定資産の取得による支出	△105,433	△58,070
出資金の払込による支出	－	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△282,501	△409,480
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	960,000	1,000,000
短期借入金の返済による支出	△960,000	△1,000,000
長期借入れによる収入	950,000	950,000
長期借入金の返済による支出	△767,391	△848,948
リース債務の返済による支出	△15,345	△9,007
自己株式の取得による支出	△72	△41
配当金の支払額	△104,496	△104,492
財務活動によるキャッシュ・フロー	62,693	△12,489
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	98,597	107,675
現金及び現金同等物の期首残高	1,467,614	1,566,212
現金及び現金同等物の期末残高	※1 1,566,212	※1 1,673,887

（５）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（６）連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

１．連結の範囲に関する事項

すべての子会社を連結しております。

連結子会社の数

１社

連結子会社の名称

イリイ株式会社

２．持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

３．連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

４．会計処理基準に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定）

時価のないもの

移動平均法による原価法

② たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産

評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）を採用しております。

商品・製品・仕掛品

個別法

貯蔵品

最終仕入原価法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

建物（建物附属設備を除く）

定額法

建物以外

定率法

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物　　３～50年

② 無形固定資産（リース資産を除く）

市場販売目的のソフトウエア

残存有効期間(見込有効期間３年)に基づく均等配分額を下限とした、見込販売数量に基づく償却方法

自社利用のソフトウエア

社内における見込利用可能期間(５年)に基づく定額法

その他

定額法

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

④ 長期前払費用

均等償却

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権および破産更生債権等については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、当連結会計年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

③ 受注損失引当金

受注契約に係る将来の損失に備えるため、当連結会計年度末時点で将来の損失が見込まれ、かつ、当該損失を合理的に見積ることが可能なものについては、損失見込額を計上しております。

なお、当連結会計年度末における引当残高はありません。

④ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき、当連結会計年度末において発生していると認められる額を計上しております。

過去勤務債務は、発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(５年)による定額法により按分した額を費用処理しております。

数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理するこ

ととしております。

(4) 重要な収益及び費用の計上基準

受注制作のソフトウエアに係る収益及び費用の計上基準

当連結会計年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められるプロジェクト

工事進行基準(プロジェクトの進捗率の見積りは原価比例法)

その他のプロジェクト

工事完成基準

(5) のれんの償却方法及び償却期間

５年間で均等償却しております。

(6) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から３ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資であります。

(7) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

税抜処理を採用しております。

（追加情報）

当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

（７）連結財務諸表に関する注記事項

（連結損益計算書関係）

※１　販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
役員報酬	133,200千円	132,600千円
給与手当	433,336千円	430,071千円
賞与引当金繰入額	56,516千円	56,110千円
退職給付費用	14,474千円	15,503千円

※２　一般管理費に含まれる研究開発費は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
一般管理費	34,643千円	19,124千円

※３　固定資産除却損の内容は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
建物及び構築物	－	147千円
工具、器具及び備品	48千円	358千円
ソフトウエア	－	54千円
計	48千円	560千円

（連結包括利益計算書関係）

当連結会計年度（自　平成23年４月１日　至　平成24年３月31日）

※１　その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額

その他有価証券評価差額金	
当期発生額	712千円
組替調整額	－
税効果調整前	712千円
税効果額	△94千円
その他有価証券評価差額金	617千円
その他の包括利益合計	617千円

（連結株主資本等変動計算書関係）

前連結会計年度（自　平成22年４月１日　至　平成23年３月31日）

１．発行済株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加（株）	減少（㈱）	当連結会計年度末
普通株式（株）	2,090,000	―	―	2,090,000

２．自己株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式（株）	66	91	―	157

（変動事由の概要）

単元未満株式の買取り　91株

３．配当に関する事項

（1）配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額（千円）	１株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
平成22年６月23日定時株主総会	普通株式	104,496	50.00	平成22年３月31日	平成22年６月24日

（2）基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議予定	株式の種類	配当の原資	配当金の総額（千円）	１株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
平成23年６月22日定時株主総会	普通株式	利益剰余金	104,492	50.00	平成23年３月31日	平成23年６月23日

当連結会計年度(自　平成23年４月１日　至　平成24年３月31日)

１．発行済株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	2,090,000	―	―	2,090,000

２．自己株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	157	52	―	209

(変動事由の概要)

単元未満株式の買取り　52株

３．配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	１株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年６月22日定時株主総会	普通株式	104,492	50.00	平成23年３月31日	平成23年６月23日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議予定	株式の種類	配当の原資	配当金の総額(千円)	１株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年６月26日定時株主総会	普通株式	利益剰余金	104,489	50.00	平成24年３月31日	平成24年６月27日

（連結キャッシュ・フロー計算書関係）

※１　現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
現金及び預金	1,601,394千円	1,709,075千円
預入期間が３か月を超える定期預金	△35,182千円	△35,188千円
現金及び現金同等物	1,566,212千円	1,673,887千円

（セグメント情報）

前連結会計年度（自　平成22年４月１日　至　平成23年３月31日）及び当連結会計年度（自　平成23年４月１日　至　平成24年３月31日）ともに当社グループは、ソフトウエア関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（１株当たり情報）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
１株当たり純資産額	1,061円33銭	1,093円07銭
１株当たり当期純利益金額	49円98銭	81円43銭

（注）１．潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

２．１株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当連結会計年度 （平成24年３月31日）
連結貸借対照表上の純資産の部の合計額（千円）	2,218,015	2,284,291
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	―	―
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	2,218,015	2,284,291
１株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（株）	2,089,843	2,089,791

３．１株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
連結損益計算書上の当期純利益（千円）	104,471	170,191
普通株主に帰属しない金額（千円）	―	―
普通株式に係る当期純利益（千円）	104,471	170,191
普通株式の期中平均株式数（株）	2,089,888	2,089,795

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

５．個別財務諸表
（１）貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当事業年度 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,395,206	1,434,248
売掛金	1,506,173	1,578,544
商品及び製品	―	369
仕掛品	74,747	43,295
原材料及び貯蔵品	4,300	4,659
前渡金	1,199	1,453
前払費用	13,833	20,343
繰延税金資産	133,074	158,935
その他	25,989	13,652
貸倒引当金	△150	△155
流動資産合計	3,154,375	3,255,347
固定資産		
有形固定資産		
建物	388,722	889,225
減価償却累計額	△232,306	△257,461
建物（純額）	156,416	631,764
構築物	3,955	10,005
減価償却累計額	△3,731	△4,192
構築物（純額）	224	5,813
工具、器具及び備品	32,946	49,488
減価償却累計額	△29,920	△32,277
工具、器具及び備品（純額）	3,025	17,210
土地	604,806	604,806
リース資産	46,520	30,401
減価償却累計額	△37,116	△27,996
リース資産（純額）	9,403	2,404
建設仮勘定	175,000	―
有形固定資産合計	948,877	1,262,000
無形固定資産		
ソフトウエア	235,792	240,258
リース資産	3,515	1,506
その他	2,757	5,185
無形固定資産合計	242,064	246,950
投資その他の資産		
投資有価証券	19,933	18,068
関係会社株式	336,330	336,330
出資金	―	100
長期前払費用	2,994	2,513
繰延税金資産	65,277	61,732
保険積立金	92,648	100,369
その他	34,489	25,702
投資その他の資産合計	551,673	544,816
固定資産合計	1,742,616	2,053,766
資産合計	4,896,991	5,309,114

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当事業年度 （平成24年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	363,920	350,634
1年内返済予定の長期借入金	718,755	797,546
リース債務	9,007	3,911
未払金	79,669	111,353
未払費用	124,641	135,071
未払法人税等	11,552	144,252
未払消費税等	25,154	39,725
前受金	－	818
預り金	40,541	67,426
前受収益	3,048	4,900
賞与引当金	276,497	329,222
流動負債合計	1,652,788	1,984,862
固定負債		
長期借入金	778,238	810,019
リース債務	3,911	－
退職給付引当金	154,905	170,581
固定負債合計	937,055	980,600
負債合計	2,589,843	2,965,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,150	550,150
資本剰余金		
資本準備金	517,550	517,550
資本剰余金合計	517,550	517,550
利益剰余金		
利益準備金	14,305	14,305
その他利益剰余金		
別途積立金	630,000	630,000
繰越利益剰余金	593,523	629,450
利益剰余金合計	1,237,828	1,273,755
自己株式	△139	△180
株主資本合計	2,305,389	2,341,274
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,758	2,375
評価・換算差額等合計	1,758	2,375
純資産合計	2,307,147	2,343,650
負債純資産合計	4,896,991	5,309,114

（２）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当事業年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
売上高		
ソフトウエア売上高	5,683,971	6,483,414
ハードウエア売上高	28,468	15,908
売上高合計	5,712,439	6,499,323
売上原価		
ソフトウエア売上原価	4,782,138	5,362,221
ハードウエア売上原価	23,926	13,912
売上原価合計	4,806,064	5,376,134
売上総利益	906,375	1,123,188
販売費及び一般管理費	776,886	842,705
営業利益	129,489	280,483
営業外収益		
受取利息	52	31
受取配当金	210	226
助成金収入	79,405	23,680
その他	3,824	5,373
営業外収益合計	83,493	29,311
営業外費用		
支払利息	20,022	19,168
その他	－	120
営業外費用合計	20,022	19,288
経常利益	192,960	290,506
特別利益		
貸倒引当金戻入額	14	－
特別利益合計	14	－
特別損失		
固定資産除却損	48	297
投資有価証券評価損	3,230	2,457
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	960	－
特別損失合計	4,240	2,755
税引前当期純利益	188,733	287,751
法人税、住民税及び事業税	68,990	169,742
法人税等調整額	16,661	△22,410
法人税等合計	85,651	147,331
当期純利益	103,082	140,419

（３）株主資本等変動計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当事業年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
株主資本		
資本金		
当期首残高	550,150	550,150
当期変動額		
当期変動額合計	－	－
当期末残高	550,150	550,150
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	517,550	517,550
当期変動額		
当期変動額合計	－	－
当期末残高	517,550	517,550
資本剰余金合計		
当期首残高	517,550	517,550
当期変動額		
当期変動額合計	－	－
当期末残高	517,550	517,550
利益剰余金		
利益準備金		
当期首残高	14,305	14,305
当期変動額		
当期変動額合計	－	－
当期末残高	14,305	14,305
その他利益剰余金		
別途積立金		
当期首残高	630,000	630,000
当期変動額		
当期変動額合計	－	－
当期末残高	630,000	630,000
繰越利益剰余金		
当期首残高	594,937	593,523
当期変動額		
剰余金の配当	△104,496	△104,492
当期純利益	103,082	140,419
当期変動額合計	△1,414	35,926
当期末残高	593,523	629,450
利益剰余金合計		
当期首残高	1,239,243	1,237,828
当期変動額		
剰余金の配当	△104,496	△104,492
当期純利益	103,082	140,419
当期変動額合計	△1,414	35,926
当期末残高	1,237,828	1,273,755
自己株式		
当期首残高	△66	△139

（単位：千円）

	前事業年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当事業年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
当期変動額		
自己株式の取得	△72	△41
当期変動額合計	△72	△41
当期末残高	△139	△180
株主資本合計		
当期首残高	2,306,876	2,305,389
当期変動額		
剰余金の配当	△104,496	△104,492
当期純利益	103,082	140,419
自己株式の取得	△72	△41
当期変動額合計	△1,487	35,885
当期末残高	2,305,389	2,341,274
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	4,450	1,758
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△2,692	617
当期変動額合計	△2,692	617
当期末残高	1,758	2,375
評価・換算差額等合計		
当期首残高	4,450	1,758
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△2,692	617
当期変動額合計	△2,692	617
当期末残高	1,758	2,375
純資産合計		
当期首残高	2,311,327	2,307,147
当期変動額		
剰余金の配当	△104,496	△104,492
当期純利益	103,082	140,419
自己株式の取得	△72	△41
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△2,692	617
当期変動額合計	△4,179	36,502
当期末残高	2,307,147	2,343,650

６．その他

（１）生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当連結会計年度の生産実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）	
	生産高（千円）	前年同期比（%）
ＳＩサービス業務	3,853,850	111.1
ソフトウエア開発業務	2,627,821	117.6
ソフトウエアプロダクト業務	536,092	97.3
その他	4,080	101.2
合計	7,021,845	112.2

（注）１　金額は、販売価格によっております。
　　２　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 外注実績

当連結会計年度の外注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）	
	外注高（千円）	前年同期比（%）
ＳＩサービス業務	1,217,556	107.6
ソフトウエア開発業務	664,431	134.3
ソフトウエアプロダクト業務	43,093	115.5
その他	16	75.0
合計	1,925,098	115.7

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 仕入実績

当連結会計年度の仕入実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）	
	仕入高（千円）	前年同期比（%）
商品販売	101,862	94.7

（注）１　金額は、仕入価格によっております。
　　２　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

④ 受注実績

当連結会計年度の受注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）			
	受注高(千円)	前年同期比 (%)	受注残高(千円)	前年同期比 (%)
ＳＩサービス業務	3,785,625	110.5	485,808	81.8
ソフトウエア開発業務	2,673,093	120.8	272,900	119.8
ソフトウエアプロダクト業務	545,922	96.7	28,240	161.4
商品販売	144,221	80.5	16,584	445.6
合計	7,148,862	112.0	803,534	95.3

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

⑤ 販売実績

当連結会計年度の販売実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
ＳＩサービス業務	3,893,622	112.9
ソフトウエア開発業務	2,627,821	117.6
ソフトウエアプロダクト業務	535,170	97.3
商品販売	131,358	72.6
その他	4,080	101.2
合計	7,192,053	112.1

（注）１　主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）		当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
㈱トヨタコミュニケーションシステム	－	－	893,317	12.4
東芝ソリューション㈱	967,516	15.0	747,059	10.3

２　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

３　前連結会計年度の㈱トヨタコミュニケーションシステムについては、当該割合が100分の10未満のため記載を省略しております。

（２）役員の異動

該当事項はありません。